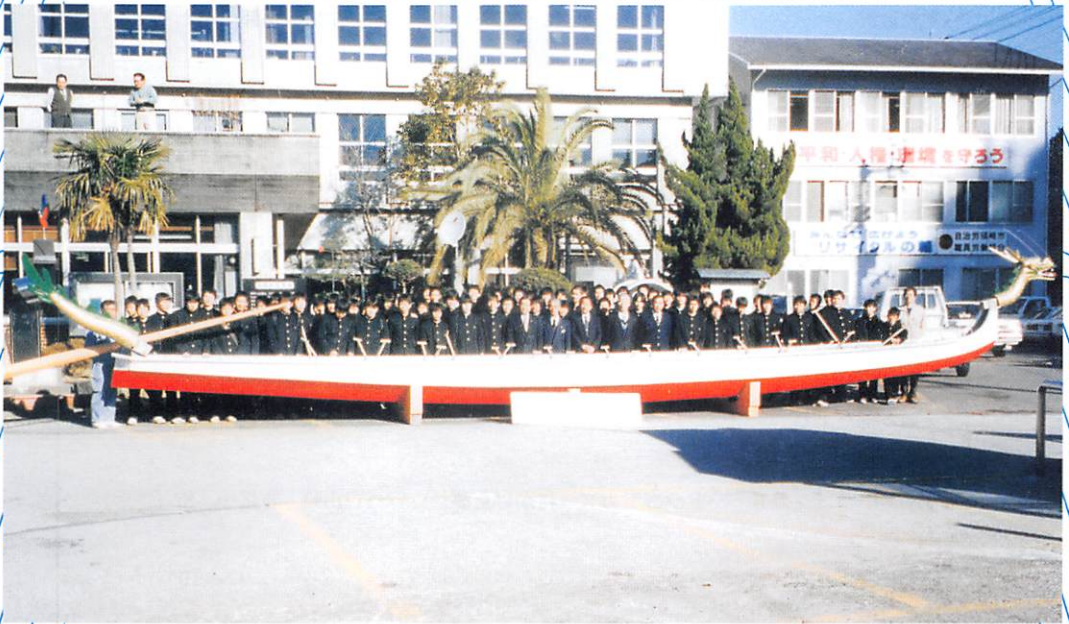




第24号
平成11年
1999

会報

にしきうら



高知県立須崎工業高等学校同窓会

目 次

ご挨拶	同窓会 会長 寺田 郁雄	1	
ご挨拶	学 校 長 尾崎 翹彦	2	
学校近況	教 頭 中山 護邦	2	
進路指導部より	林 幸男	4	
中京支部だより あれからの中京支部	沖 良二	5	
関東支部だより 帰京、歓迎会そして突然の支部長就任	堀内 靖博	6	
京滋支部だより 土佐弁は健康のみなもと	上田 智明	7	
大阪支部だより	野並 允温	8	
進め！ドラゴンカヌー	ドラゴンカヌーにかけた夢	山崎 吉広	8
事務局だより		10	
終身会費納入者(1年間分)平成10年10月1日～平成11年9月30日		11	
平成10年度決算並びに平成11年度予算		12	
平成11年度役員		13	

ご挨拶

昭和二十一年機械科第一種卒

同窓会会長

寺田郁雄

同窓会の皆さんには、お元気でそれぞれの分野で御活躍のこと、御慶び申し上げます。

平素は、会員の皆さんには、同窓会活動に御理解をいただき何かとご協力を賜っております。

茲に衷心より厚く御礼申し上げます。

扱、母校は、尾崎校長先生の強力なリーダーシップのもと、学校再編のためのプロジェクトチームの活発な活躍により、魅力ある学校作りが力強く前進している状況であります。

そして昨年十二月には、須崎工業造船科の生徒達により建造した、全長十六メートル、三十人乗りのドラゴンカヌー艇を、須崎市の活性化に役立ててほしいと、寄贈いたしましたところ、須崎市長も、いたく感激され、生徒諸君の純粋な気持ちに無駄にしてはならないと、ドラゴンカヌー大会実行委員会を結成し、低迷せる須崎市活性化の起爆剤とし、ドラゴンカヌー大会を開催することを決定しました。

そして、その後須工は二艇を建造し、合わせて三艇寄贈し、実行委員会は、補助金及び寄付金等を財源として、五艇建造することとなり、母校の先生方の指導のもと、生徒達も放課後、日曜祭日などをすべて返上し、頑張り通した結果、目度度く八艇すべて完成し、七月十五日、グラウンドに陳列し、全日母校体育館に於きまして、めでたく須崎市並びに実行委員会に、贈呈並びに引渡しの式典を高知県教育長、

県議会議員等各界の御来賓の御来臨を賜り盛大に執り行われました。

そして七月三十日、浦の内横浪三里の入江の一面で二十チームによる見事なドラゴンカヌーの競技大会が、大勢の観客の大声援のなか、熱戦が行われました。

このように、母校は、先生方も生徒達も頑張っており、市内外の方々に、さすが須崎工業だと、面目を新たにいたしましたのであります。

その節には、会員の皆さんには、この厳しい時節にも拘わりませず、随分なるご協力をいただき、本当に有難う存じました。今後共何分なる御支援の程よろしく御願ひ申し上げます。

又各支部に於きましては、支部長を中心に活発な支部活動をお願いしており、感謝申し上げます。本年七月十七日には、関東支部総会が開催され、本部からも出席させていただきました。当日は、盛夏の暑い時期でしたが、百数十名の御出席があり、大盛会でございます。

又当日には、昭和二十一年機械卒業の柳原民男氏が勲四等旭日小綬章を授章された御披露目もありましたので、高知からも十数名が特別参加させていただきました。須工を卒業した者として心より祝福いたしました。本当におめでとう存じます。

扱、来年は本部総会の開催の年であり本年度理事

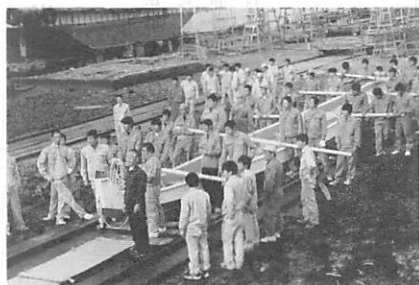
会に於きまして、平成十二年八月十三日開催を決定いたしました。詳細については、平成十二年度理事會にて協議いたしますのでよろしく御願ひ申し上げます。

私達は、須工により出合い、そして今日がある訳であります。即ち母校あつての同窓会であります。

内外ともに厳しい時期ではありますが、互いに横の連絡をとりながら、支部活動を通じて友情の輪を拡げ、互に切磋琢磨し、会員相互の繁栄を計り、同窓会活動を活発に行い、母校の隆盛に微力ではあります。御協力申し上げようではありませんか。

終りに臨み、第二十四号会報「にしきうら」発刊に際し、御協力お願い申し上げます。事務局の先生方並びに関係各位の御尽力に対し心より感謝いたしますと共に御礼申し上げます。

茲に、母校の更なる隆盛と会員各位のご健勝を衷心より祈念申し上げます。御挨拶といたします。



題 洪

ご挨拶

学校長

尾崎翹彦

同窓生の皆様にはますますご健勝で活躍のこととお喜び申し上げます。日頃は母校の教育のためにご支援ご協力を賜り心より感謝いたしております。

さて、高等学校教育のありかたとして、平成十一年三月二十九日に、新しい時代に向けた学習指導要領が告示され、来る二十一世紀の教育の柱として「ゆとり」「特色のある教育」「生きる力」がテーマであります。

特に「生きる力」については、自ら課題を見つけ、自ら学び考え、判断し行動する力の育成を図るとともに、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実に努めなければならないと言われています。

また、それと合わせて、完全学校週五日制が実施される中で、今後の高等学校のありかたが大きく変わらうといたしております。

本校におきましても、生徒の少子化や多様化する生徒に対し、魅力ある学校に、そして、入学後は一人ひとりの生徒が意欲的な学校生活を送ることが出来るように目指して、現在学校改革に取り組んでいます。

そのためには、私たち一人ひとりが「人を育てる」という重要な使命を自覚し「特色のある、望ましい楽しい学校創り」に心がけていきたいと考えています。

今後ともご指導ご協力いただけますようお願いいたします。

昨年度に引き続き、本校造船科の生徒を中心として、「須崎市の活性化」をはかりたいとの思いで、ドラゴンカヌー艇（全長十六m、三十人乗り）を八艇（内三艇寄贈）建造し須崎市に対し寄贈及び引き渡しを行いました。また、その際には、艇の建造に際して、

同窓生の皆様方には大変多くの方よりご寄付やご支援をいただき心より厚くお礼申し上げます。

去る七月三十一日（土）には第一回須崎市ドラゴンカヌー大会が浦ノ内湾で二十数チームが参加され多数の観客のもとで盛大に行われました。

当日は、夏休み中でもありましたが、本校生徒全校登校日とし、大会にもそれぞれ三チームの選手が出場し活躍いたしました。大変有意義な一日であったと思います。

これを機会に、私たちは、この大会がますます盛んとなり、本校で建造されたカヌー艇が何時までも大会で活躍され、須崎市が全国的にその名を誇示することが出来るようになればと期待しています。

最後になりましたが、本校同窓会のみならずのご発展とあわせて会員の皆様方のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

学校の近況報告

教頭 中山護邦

今年は何年になく大雨の続く夏でしたが、ようやく秋らしくなってきました。同窓会の皆様方にはご健勝ご活躍のことと存じます。また、平素は母校教育につき、何かとご理解とご援助を賜り厚くお礼申し上げます。それでは、母校の状況についてお知らせいたします。

一 全校生徒数三十七名増加

少子高齢化社会が忍び寄る近年、高吾地区においても中学生の減少が続いております。そのため、昨年度より、四学科（定員各科四十名、全校四八〇名）規模となっております。これ以上の生徒減少は、学校運営にも大変支障を来すことになり、中学生の確保と中途退学防止に懸命に取り組んでおります。

現在の生徒数は下の表のようになっていますが、昨年よりは三十七名増加しています。大変喜ばしいことです。しかし少子化のため生徒数は減る一方でもあり、入学許可した生徒は全員卒業させることを目標にして指導にあたっております。また、生徒やその家族にとってより魅力的な工業高校となるよう学校改革について、校内で検討しております。

学 年	1	2	3
機 械 科	40	39	36
造 船 科	43	27	27
化 学 工 業 科	38	35	17
電 気 科	34	27	20
計	155	126	100

全校生徒数 381名

二 ドラゴンカヌー第一回大会開催は大成功
 まず、艇の建造に関して、同窓会の皆様より多くのご寄付をいただきました。この場を借りて、心よりお礼申し上げます。

この事業は、本校造船科が中心になって、ドラゴンカヌーを合計八艇も建造し、須崎市に贈呈（三艇）委託建造引渡（五艇）いたしました。贈呈式は体育館において高知県教育長、県会議員二名、須崎市長、市会議員十三名他多数の来賓、関係者並びに本校教職員生徒全員による盛大な式典となりました。続いて、第一回大会が七月三十一日に、須崎市の浦ノ内湾で開催されました。当日は、二十チーム参加し、三十人乗り込みのドラゴンカヌーを全力で漕ぐ、力強く迫力のある競漕大会となりました。



生徒達によって建造され
 運ばれるドラゴンカヌー艇

来年度以降も県下、他県へも呼びかけ開催することになっており、きつと伝統ある大会に発展することと信じております。

これらのことが須崎工業高校が提案し、艇の建造や資金集め等を中心となった事業として新聞やテレビで大きく報道されました。この母校の地域への貢献を保護者や生徒達も大変誇りに思っております。

三 主な学校行事

平成十年度卒業式は例年通り三月一日に挙行、機械科三十四名、造船科二十六名、化学工業科二十名、電気科二十五名の計百五名が卒業し同窓会会員となりました。うち四年生大学七名を含む二十八名が進学しました。不況の中、就職組もほぼ百パーセント決定して卒業しました。

第五十八回開校記念行事が五月二十九日に森岡清先生（機械科卒前本校校長）による記念講演を実施しました。アフリカのケニア共和国ナイロビ市にて、国際協力事業団の派遣員として二年四月にわたって滞在され、この間のご活躍を講演していただきました。生徒達は速くケニアの話に熱心に聞き、国際理解を深めました。この後、恒例の各科対抗の綱引き大会があり常勝造船科チームの圧勝におわかりました。

五月二十二日に県体がはじまり、野球部・ソフトボール部・ハンドボール部・陸上部・空手道部・バスケットボール部・卓球部・バドミントン部の各クラブが出場し健闘しました。昨年より各クラブも部員が増え活気づいています。その他いろいろと学校行事がおこなわれています。

この秋（十／七）には、第四回体育祭を催します。以前はスポーツ大会でしたが、平成六年より体育祭

として実施しています。今回のテーマは「本気」（マジ）、生徒達がどのような体育祭にするか楽しみます。

四 教職員の人事異動

永年で勤務していただいた、高橋三雄先生・寺村四郎先生・植田幸子先生が定年退職されました。先生方には永年にわたり本校発展に尽力いただきました。ご苦労様でした。全体では次のような教職員の異動がありました。

退職 高橋 三雄（機械科）

寺村 四郎（機械科）

植田 幸子（電気科）

桑原 智子（国語）

井上 明（保体）

渡邊 紀（家庭）

濱田 慎廣（造船）

珍珠 昭浩（造船）

味元 秀夫（化工）

寺内 直仁（事務）

平野 佳代（国語）

武田 綾（家庭）

北山 隆文（保体）

西川 哲夫（機械）

植田 豊年（機械）

福原 大海（造船）

岡本 雅道（化工）

竹内 由香（事務）

その他、臨時の先生方も大勢異動になりましたが紙面の都合で近況報告を終わらせていただきます。

進路指導部より

林 幸男

卒業生の皆様、ますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

今年の夏ほど、異常気象だと感じたことはありませんでした。夏休みにはいつて、何と雨の降った日が多かったことでしょう。夏の暑い太陽の日射しが恋しく感じたのは、私だけではなかったと思います。

天候が例年の夏のようにではなかったのですが、日本経済においても景気が冷え込み、企業の求人数も激減しています。詳しくは、下表の「求人状況の推移」に示しました。本校に求人はいきても、企業全体で採用する人数は、昨年よりもひどいところでは半分とかで、今年の三年生の就職活動は、ひじょうに厳しくなっています。このような状態は本校だけでなく、他の工業高校でも同様の状態だそうです。

別表には「進路状況の推移」として就職及び進学者数を示しました。この表により、進学する生徒数が増加しています。また、年度ごとの生徒数が減少していることも分かります。今年にいたっては、三ヶタを切ってしまいました。生徒の減少また生徒の多様化に伴い魅力ある学校づくりをしようとする全教職員も学校改革に取り組んでいます。近いうちに新しい教育課程に基づく須工ができると思います。開校して、もうすぐ六十周年を迎えるわけですが、卒業生の皆様が築いて下さった伝統を今後も守り、伝えていくよう全教職員頑張っています。そのためにも、皆様方のお力添えなくしてはできません。今後ともよろしくお願い致します。

最後になりますが平成十年度卒業生の進路状況及び就職先進学先も示しましたのでご覧下さい。

平成十年度就職先企業（日十一年二月二十八日現在）

○求人状況の推移

年度	地域					その他	県外合計	県内	計
	関東	東海	関西	中・四国	その他				
6	164	72	218	86		540	128	668	
7	111	58	180	69	3	421	122	543	
8	94	56	156	66		372	152	524	
9	104	76	177	73	3	433	98	531	
10	85	58	143	55		341	72	413	
11	39	22	75	39		175	43	218	

○進路状況の推移

年度	生徒数	進学		就職		その他
		大学等	専門学校等	県内	県外	
6	206	32		77	91	6
7	188	24		75	75	14
8	143	24		56	60	3
9	128	4	18	47	59	0
10	106	10	12	23	47	14
11	105	14	17	25	49	0

○地域別就職先人数

		7	8	9	10	11
関東	東	12	7	7		13
東海	東	8	14	13		11
関西	西	27	21	17		9
中・四国	中	28	18	22		17
高知	高	75	56	47		25

- 県内 高知県交通(株) M2・セイレイ工業(株) 高知工場 M1・高知イセキ販売(株) M1・須崎鋳造(株) M1・中予電器(株) 佐川工場 M1・C1・ニヨド印刷(株) M1・(株) ユーケータクニカ M1・清和病院 M1・中川工務店 M1・新高知重工(株) S1・大盛工業 S1・(有) 手箱建設 S1・(株) 上岡工務店 S1・須崎地区森林組合 S1・三和製紙(株) C1・廣瀬製紙(株) C1・(有) チューニプロデュースマシ C1・ハヤシ商事(株) C1・ニッポン高度紙工業(株) E1・土佐ガス(株) E1・かもべ開発(株) E1
- 中四国 マツダ(株) M1・石川島播磨重工業(株) 呉事業所 S1・波止浜造船(株) S1・幸陽船渠(株) S2・今治造船(株) 丸亀事業本部 S1・神原海洋開発(株) S1・(株) サノヤス、ヒシノ明水島製造所 S1・亨栄工業(株) C1・兵庫製紙(株) 四国事業所 C2・四国旅客鉄道(株) E1
- 関西 ダイハツ工業(株) M1・大阪サニタリー金属工業協同組合 M1・兵庫養殖漁業生産組合 M1・三洋化成工業(株) C1・フジテック(株) E1・コナンフット(株) E2・(株) タカハシワークス滋賀工場 E1・ニッタン精機(株) E1・向陽電設(株) E1
- 東海 大同特殊鋼(株) M1・豊田紡織(株) M1・愛知製鋼(株) M1・(株) 三五 M1・日本鋼管(株) 津製作所 S1・トヨタ自動車 S1 E1・東レ、モノフィラメント(株) C1・黒金化成(株) 知立工場 C1・豊国工業(株) E1
- 関東 廣済堂運輸(株) M1・大日本印刷(株) M1・(株) 大和三光製作所 M1・日鉄鉱業(株) M1 E1・(株) 藤澤製作所 M1 C1・(株) トップパナテック M1・東洋ガラス(株) 川崎工場 M1・三洋電機(株) 産機システム事業本部 E1・富士重工(株) 群馬製作所 E1・東京ビジネスサービス(株) E1・(株) ワンビシ産業 E1

中京支部だより

あれからの中京支部（愛知県分会の同窓会）

昭和二十九年機械科卒

沖 良 一

「にしきうら」第二十三号の原稿締め切り後の古いニュースを紹介します。

中京支部再開後、初めての同窓会を行いました。手始めは、県単位での活動からということで、全体の七十%を占める愛知県分会の同窓会です。なにしろ初めてのこととて、出席者がどの程度か見当がつかえません。あれこれ考え人数を幅を持たせやすい「中華料理」ということにしました。人数も最大百人収容可能な形で予約をしたのです。場所は名古屋の副都心、今池に決めました。

十二月十三日、最終出席者は十八名になりました。

沖本会長の挨拶、出席者自己紹介の後は須工時代の話や近況やらで話がはずみ、なかなか雰囲気うちに、あつという間に時間が過ぎてしまいました。いつかゴルフでもやりましょうとのことでしたが、いまだ果たせなっています。来年の五月連休頃には企画したいと思います。希望者はお申し付け下さい。少人数の同窓会でしたが、少しづつ輪を広げていきたいと考えます。紙面をお借りして写真を掲載します。

◆同級生の皆さんに顔見せします

この人が参加しました。みんな元気にやっています。

- (S49M) 左より 亨明雄
- (S30M) 井政村
- (S41M) 武正修
- (S43C) 山中村
- (S46C) 竹谷隆
- (S51M) 大西生
- (S52E) 太田喜昌
- (S32M) 藤森昌
- (S33S) 森田輝
- (S45M) 森前左
- (S24M) 中沢左
- (S30M) 西森昭
- (S33M) 沖本利
- (S34M) 木昌
- (S39M) 佐利
- (S46M) 沖高
- (S47E) 西志
- (S48E) 和田稔

もう一つの同窓会

今年、父の初盆で中村の実家に出かけました。それに合せて「クラス会をやろう」ということになり、私にとって須工卒業以来のクラス仲間に出会うことができました。お盆に入つての集まりでしたが、「沖を肴にして飲む」との有志が高知に集いました。みんなかつての面影を残した懐かしい面々です。あの頃、わいわいやつたかつての若者は、紛れもなく一様に「立派なおじさん」になっていました。

浦島太郎の気持ちが分かったような気がしました。須崎の町はずいぶん変わっていましたが、昔と変わらない友達に会えて、最高に良かったと思います。

井上先生には大変お世話になりました。ありがとうございました。田舎には、都会では見られない迫ってくるような星空がありました。沖本会長が定年後に宿毛に帰る気持ちは、少し分かったように思います。

中京支部の皆さんは、いかがお過ごしでしょうか。皆さんの情報を同窓会にお寄せ下さい。



関東支部だより

帰京、歓迎会そして突然の支部長就任

堀内 靖博

平成九年七月初社命を受け三十七年半勤務した東京を後に中土佐町上の加江にあります菱高精機(株)の工場長として赴任し懐かしい故郷で一年半の勤務。今年一月須工の後輩に後を託し再び東京のゼノール事務所に戻って参りました。

戻る早々同級生の田村数男君からの呼び出しを受ける。「いろいろ話はあるがとにかく新宿の住友三角ビルの五十一階展望室まで一月三十日五時に来てくれ。詳しい事は会ってから話す」との事。何のことか分からずSONY勤務の山本浩則君を誘って顔を出してみた。話は次の関東支部同窓会開催の件と今回の同窓会を最後に野瀬支部長以下全役員が辞任し新しい役員のもと発足してほしい等の事であった。

野瀬支部長、梅下副支部長、浜田逸雄理事、田村君の巧みな話のうち同窓会の日取決定、後は支部長候補を早急に選出するという事で同ビル内五十階の土佐料理「ねばけ」を後にする。(断っておきますが関東支部の会合は予算がないのでほとんど割りかんでです)

田村、山本君と三人で新宿駅に戻る途中通称「しょんべん横丁」近くの焼鳥屋で「もう一杯いこうか?」という事で飲んでいるうち田村から「三十六年卒で支部長を出さないといけない」等の話が出て来た。では誰にやってもらうんだ?...目の前にいる田村か?山本?または竹村精史か...等の顔を頭に浮べる。そ

の夜途中はしご酒をし亀戸の自宅に戻ったのが午前二時を廻っていた。

その一週間後二月六日歓迎会をしてくれるとの事。いつもの三十六年卒の会合場所J R亀戸駅近くの和風料理店「鴨」に集合である。当日主賓でもあるので早目に会場に行ってみると十年以上振りの参加者吉村正浩(別名:紅鳥・彼は俳句をやっている)君が来ていた。会はずいぶん前の様に三十六年卒有志の大変楽しい雰囲気であった。ところが突然田村君から「支部長に誰を推薦するか?」という話が出て来て酔った勢いで盛り上り出した。誰かが堀内になってもたら:等を発言し皆が「そうだそうだ」という事になり出してしまった。私は「馬鹿野郎」と怒鳴ったが土佐人が土佐流の酒を一杯飲んで絶好調になっているのをよもや止める事が出来ない。早速吉村紅鳥は支部長は決定したような俳句は作るし、筋肉マン高橋吉則は「祝いの酒だ」と次々にお酌をして廻る次第。

頭が良くて真面目でおとなしくあまり酒を飲まない岩本雄さんの言葉は酔いが廻っている私の脳天にパーベキューの金串を差し込む程強烈に利いた。「堀内よ男として生れて...云々」雄さんの言葉は「もう逃げられないヨ!」と言っている様な気がした。別役雅彦君も追い打ちをかける。もう逃げられない覚悟しろ!と言っている様だ。二次会に席を移しカラオケで気分を紛らわそうとしたが楽しくない。もしこのまま決定したらどうしよう。土砂を満載したダンプの列に突然飛び出していつて轆かかれた様なものだ!完全に交通事故状態だった。

高知からの転勤があと一ヶ月遅れていたならこんな事にはならなかったのに...。故郷高知での一

年半は仕事、仕事、仕事絶対仕事であった。休日たまたま行った魚釣り以外それ程楽しい事はなかったのに...。だから今年の運勢は絶対良い筈で戻って来たのに。(平成十年二月九日記録より)

支部長就任

此の度同窓生の推薦を頂き関東支部の支部長の重責をお受けする事になりました。誠に光栄とは存じますが、反面この重責を全うできるか...と大変不安を感じております。先の七月十七日(土)東京新宿にあります「ヒルトン東京」ホテルでの関東支部の同窓会も同窓生の皆様方の絶大なる応援のもと関東支部の優秀な頭脳、野瀬支部長、梅下副支部長、福井会計理事他素晴らしい役員理事のもと盛会裏に終了致しました。はるばる須崎から尾崎校長先生や本部長様はじめ在郷の方々が高知市や宿毛市からもかけて頂き有難く感謝申し上げます。

又同郷の多数の高校の同窓会関東支部からも参列頂き心温まるお祝いのご祝辞を頂戴し厚くお礼を申し上げます。

私には野瀬前支部長の様な優秀で鮮やかな頭脳の持ち合せはございませんが、新しいスタッフのもと皆様のお力を拝借し誠心誠意努めて参りますので何卒宜しくお願い立て下さいます様お願い申し上げます。



土佐弁は健康のみなもと

昭和二十九年機械科卒
 郷業厚生部長

上 田 智 明

全国の同窓生の皆さん、公私共御壮健にて御活躍の事とお慶び申し上げます。

京滋支部では皆さんと親しく接する為に、三年前より年間を通じて三・四回レジャーやスポーツ行事を開催しております。

本年度の行事は五月に京都の宇治市で老若男女が参加、午前はボウリング大会を、午後は宇治市の名所見物を行い、八月には、滋賀県にてゴルフ大会を開催、暑さにも負けず十六名が参加、好プレー、珍プレーの続出で終日楽しめました。続いて九月には火の神様で有名な京都のあたご山(標高九二四m)へ、男女、ファミリー合せて二十余名が登山、昨年の三上山登山の実績もあり三時間程で全員登頂、頂上では土佐弁で登頂と健康を喜び持参のビールで賑やかに祝杯、汗を流した後だけに実に美味しかった。秋にはオプシオンで釣り大会も計画しています。

年を追う毎に参加者も増え、ファミリーから会社の友人等も。そして又、大阪、兵庫、奈良の近隣支部から、遠くは千葉県、郷里の高知県からも駆け参りて下さり、参加数も多くなってきました。

行事計画の御案内が変わります。

今年までは年間の行事計画書を年始めに京滋支部の全員に送り、同封の返信ハガキにて参加申込みを受け、各々行事の一ヶ月前に出欠の確認も兼ねて詳細案内状を送って来ました。前記の通り県外からの

参加者も増えると共に「新たに参加したいから行事計画書が欲しい」との御便りもあり来年度行事からは、この「にしきうら」に掲載願うことになりました。従って今年までは京滋支部全員に送っていた行事計画書は来年度からは、「にしきうら掲載に統一」することになりましたので御了承願います。行事への参加申込みは、京滋支部の皆さんも支部外の皆さんも同じく「ハガキ」に参加予定の行事名を列記して後期の田村支部長宅迄、二月末日までに申込んで下さい。申込みを頂いた方には従来通り行事開催日の一ヶ月前に詳細案内状を送ります。都合で参加出来なくなつた方はその時に返事を下さい。



◎『平成十二年度の行事計画』御案内◎

詳細は行事開催一ヶ月前に参加者に送ります。

誰でも参加できます「参加」のハガキをどうぞ!

一、ボウリングとグラントゴルフ大会

開催日時：六月十一日(日) 午前九時現地集合
 場 所：滋賀県守山市、守山ボウル・竜王町「妹

背の里」にて昼食とグラントゴルフ。
 会 費：二千五百円
 ボウリング、二ゲームプレー費、貸靴、グラントゴルフ、プレー費、賞品代、他

二、定例総会並びに懇親会

開催日時：七月十六日(日) 午後三時現地集合
 場 所：京都市、新・都ホテル(JR京都駅前)
 会 費：女性と三十歳迄の男性・七千円
 三十歳以上・九千円

三、ゴルフ大会

開催日時：八月六日(日) 午前九時現地集合
 場 所：滋賀県、琵琶湖大橋ゴルフコース
 北↓中コース、初級↓中級者クラス向
 会 費：一万六千円
 プレー費、賞品代、会食費、写真代。

四、豪華版!『戦国時代めぐり』

(昨年台風により中止、開催の声が多く復活)
 開催日時：十月十五日(日) 午前九時三十分集合
 場 所：滋賀県、JR東海道線、安土駅前集合、秀吉の安土城考古博物館(信長の館)(金箔の現物大、安土城天主閣展示)↓安土城跡↓屋形舟にて琵琶湖水郷めぐり、船内にてスキヤキ昼食↓近江八幡市、八幡山(ロープウェイ登山(琵琶湖と八幡の城下町展望)↓近江八幡市の名所見物。
 会 費：女性と三十歳迄の男性・六千円
 三十歳以上・八千円

参加申込み先

〒511-0011 滋賀県近江八幡市中小森町276-19
 電話・FAX 0748-1331-0607
 田 村 武 夫(京滋支部事務局)

野並 允温

二十余年に渡り同窓会大阪支部をたばねてこられた機械一種第二期の山田豊会長が健康上の都合で会長職を辞任され、機械第一期の下村昇氏が大阪支部の会長職をお引受け頂くことになりました。この交代に伴い副会長を三人制とし、その内で電気通信科一期の野並允温が事務局となりましたのでよろしくお願い致します。

これまでの同窓会大阪支部は山田会長、松村隆司事務局長（機械第九期）におんぶにだっこでしたのでそのご苦勞に深く感謝致します。

これからは集団で知恵と力を出し合い関西千二百人余の和を結集し意義有る同窓会活動をと心しておりますのでご協力ご支援をよろしくお願い致します。

従来二年に一回開催しておりました同窓会総会を前の役員会の総意により四年に一回に変更致しました。その間でかたぐるしい式次第抜きの面白い集いと交流の場を持ちたいと考えていますので、良い案を提供して下さい。

大阪支部の中では昭和三十年卒のクラス会が活発な活動を続けています。この三年間に二回の一泊旅行と五回の日帰りの集いを行い、夫婦同伴者が多く妻たちの交流が会を支えている程です。



須工卒業生の皆さんへ

平成13年度は電気通信科創立50周年に当たります。その年度内の良き日に何らかのかたちでお祝いをしてほしいとの声が上がりましたので皆さんの知恵と力を結集して頂きたくお願い致します。日取りや規模かたちや会場などすべて白紙です。これから動きたいと考えておりますので「にきうら」誌上をおかりしてご支援ご協力をお願い致します。

発起人

秋山 正元・片岡 淳・高山 三郎・筒井 賢明・野並 允温・細木 芳文・松本 四郎・矢野 保照・山本 弘・横昌 幸一・和田信一郎

連絡先

高知 秋山正光 〒780-0010
高知市勤野891-8 ☎ (088) 845-1456
関西 野並允温 〒566-0055
摂津市新在家1-9-10 ☎ (06) 6340-5962
関東 松本四郎 〒270-1164
我孫市つくしの1-7-5 ☎ (0471) 84-7622

進め！ドラゴンカヌー

ドラゴンカヌーに

かけた夢

造船科 山崎 吉広

須崎市は近年若者の流出や少子化による人口の減少、さらに高齢化が進み、街全体を見ても今一つ活力に欠けています。そのため街の活性化を図ろうと自然に恵まれた条件を生かし、「やさしさ、ゆとり、元気な海洋都市」をキャッチフレーズに様々な基盤整備やソフト事業に取り組んできました。そのような状況の中にあつて平成十三年には須崎まで「高速自動車道」が開通予定であり、平成十四年には「よさこい高知国体」が開催される事もあり須崎市も一段とさまがわりしようとしています。これらをバネに交流人口の増大を画するなど更なる前進が期待されております。

これらの状況を踏まえ日頃学習している工業技術を須崎市発展のため少しでも役立てることができないものだろうかと真剣に考えてみました。その結果先進県ではすでに成功し定着しているペーロン大会に学ぼうという案が浮上りました。ペーロン（ドラゴンカヌー）艇を本校の生徒達の手によって建造し、それらの艇によって競技大会を行い、須崎市を全国に広くPRしたい、そうして「須崎街おこし」につなげていきたい、と須崎市に提案したのです。そうするためには学校独自では困難な点も多く問題点の克服のために「産官学民」が一体となって協力体制

で取り進む必要があることを痛感し関係各方面への打診や協力の要請を行ってきました。

須崎市はこの提案を真摯に受け止め、企画課が中心になって、先進県への視察、調査、検討に入り、審議に審議を重ねた結果『須崎市カヌーによる街おこし実行委員会』を設立することになりました。

一方須崎市への提案を県教育長に申請したところ、この取り組みは、まさに『開かれた学校づくり推進事業』の趣旨であると了承されました。この時点で正式に建造へのGOサインが出たことになりました。

設計は平成十年七月から九月まで行い、同年十二月には試作艇を完成、進水させることができました。同時に浮き具合、動揺、推進、旋回、強度等についての性能テストを錦浦湾で行ったところ初期計画通りであることが実証されました。その直後の高知県産業教育フェアにも出展され、同会場において、造船部員が建造状況を発表し、関係方面より高い評価を得ました。これらは生徒達にとって後々大きな励みとなり、結果的に八艇のドラゴンカヌーを建造する原動力となりました。さらにこの試作艇は平成十年十二月須崎市役所において、生徒代表によって、須崎市長に贈呈されました。その後平成十一年七月十五日日本校体育館でドラゴンカヌー贈呈並びに引き渡し式が全校生徒、教職員、来賓多数参加のもとに盛大に挙行了しました。

去る七月三十一日には待望の第一回須崎市ドラゴンカヌー大会が須崎市浦ノ内坂内（国体カヌーレーシング場）で開催され、観客、選手合わせて約二千名が参加、盛況のうちに無事終了することができました。本大会は初めての経験でもあり、準備等不備な点が指摘される中での大会にしては、地域からの

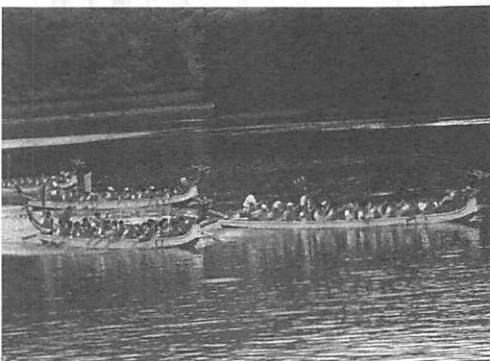
反響も大きく、大成功だったと思われれます。この大会が回を重ねることに発展し、四国、西日本、全国大会へと拡がって欲しいと願っています。このドラゴンカヌー建造に取り組んだ一年間は、生徒と教員にとつて血のじむ連続の日々だったと振り返ります。しかしながらこの実習作業を通して得た物事を完遂することの大切さと、充実感は何ものにもかえがたい貴重な収穫であったと思われれます。

本校の工業技術を生かした地道な取り組みが須崎市の活性化にわずかでも貢献できたこと信じています。今後もこうした取り組みを継続して行なうことにより地域の皆さんから信頼される学校になって欲しいと強く願っています。

本校には初代中内知章校長の遺訓として『技術のためには命を投げよ』『技術のためには身命を捧げよ』という言葉が残されており、これは中内校長自身教職経験の中で培ってきた思いが一つの言葉として結実したものだだと思われれます。生徒達の真心こめたドラゴンカヌー建造の取り組みは中内校長のこの建学の精神に應えんと共に須崎市に対して多少なりとも恩返しできた生徒、教職員一同大変嬉しく思っています。

最後になりましたが同窓生の皆様方には多大なご支援、ご協力を下さり心から感謝申し上げます。

ドラゴンカヌーに乗せた一同の夢が、更にはるかな海路を拓き、いつまでも、いつまでも未来の大海につながるように



事務局だより

開校記念行事として、五月二十九日に講演、そして各科対抗綱引き大会を行いました。
講師として、森岡清氏（昭和二十六年機械科卒）に「ケニアでの任務を終えて」をテーマにお願いしました。



森岡氏は、昭和六十年に須崎工業高校第十四代、校長先生として赴任され、平成五年三月に退職されるまでの八年間、母校校長として母校並びに同窓会の発展にご尽力をいただきました。

平成八年九月より二年四月の間、ケニア共和国ナイロビ市へ国際協力事業団専門技術指導員（JICA）として赴任され、現地に多大なる貢献を致しました。この時に経験された事を含め、国際交流、国際感覚等について生徒達にわかりやすく、又ビデオ、写真にて現地の様子を講演して下さいました。改めてお礼を申し上げます。

その後、綱引き大会が盛大に行われ、造船科が二年連続優勝致しました。

母校の大きな行事として、工業高校として地域へ何か貢献する事はないかと考え、町興しの一環として本校生徒より須崎市ヘドラゴンカヌー大会を開催してはと提案したところ、市及び市議会も提案を受け入れ開催する事になりました。八艇を本校造船科で建造しました。その中三艇は本校より須崎市へ寄贈いたしました。他の艇については、ドラゴンカヌー大会実行委員会が結成され募金活動が行なわれました。その際に会員の皆様方には大変お世話になりました。

ありがとうございました。

おかげさまで七月三十一日に浦ノ内湾に於て、参加二十チーム、観客数千人位にて盛大に大会を開催することができました。来年以降も本大会が開催することになっていきます。皆様方のご協力を宜しくお願いいたします。

来年八月には総会を開催いたします。終了後は懇親会を計画していますので楽しんでいただけますようお願いいたします。

平成十三年は、創立六十周年を迎えます。記念事業、行事等については、主体となる学校と協議を行い、十二年度の理事会及び総会に提案いたします。

会員の皆様で何か案があれば事務局までご連絡下さい。

会報発送業務について、従来は事務局より個人に又は職域幹事さんより個人に発送していましたが、八千冊近くの会報を会報の二折・宛名シール貼り・終身会費振り込み書の差込・地域別に分類等の仕事内容があるわけですが、事務局員六名ではとても手が足らず、生徒の実習時間（十時間位）に手伝って

ただかなくては発送できない状態にあります。また送料についても、二〜三万円位安くなります。以上の事から本年度の理事会に提案し、専門業者「(株)関西西廣済堂」に発注し、全て個人宛に発送することになりました。職域幹事さん、会報配布については本当にご苦労をかけたと思えます。ありがとうございました。尚、職域としての同窓会活動は今まで通り宜しく申し上げます。

コードNOの変更については左記の通りですのでご確認下さい。

最後になりますが、長年にわたり母校教員としてまた、同窓会事務局員として母校の発展並びに同窓会活動にご尽力をいただきました、高橋三雄氏（昭和三十三年機械科卒）、植田幸子氏（旧姓竹内・昭和三十三年電気通信科卒）の先生方が本年三月に退職されました。心より感謝の意を表しますと共に皆様にご報告いたします。

追伸、会報に記事を書きたい事があれば事務局迄ご連絡下さい。

コードNo.を少し変えました

会員数の増加に伴い今まで使用していたソフトでは、皆様方のご希望にお答えするには若干の時間がかかりご迷惑をおかけしてました。

このたび理事会での承認をいただき、会員のデータで最新の機器並びに新しいソフトに移行いたしました。このデータの移行に関しましては、前関東支部支部長・野瀬公介氏（31電通卒）に多大なるご指導とご協力をいただきました。ここに紙面を借りましてご報告並びに厚く御礼申し上げます。

変更内容

S21-001 → 1S21-001
（昭和21年3月卒業の001番目です）
昭和卒業の方はSで表示していたのが1S表示に変更となります。

H01-001 → 2H01-001
（平成01年3月卒業の001番目です）
平成卒業の方はHで表示していたのが2H表示に変更となります。

コード番号は、封筒の表タックシールの氏名欄下部に記載していますのでご確認下さい。

〒785-8533
高知県須崎市多ノ瀬和比田甲4167-3
須崎 太郎 様
S21-001

(変更前)

〒785-8533
高知県須崎市多ノ瀬和比田甲4167-3
須崎 太郎 様
1S21-001

(変更後)

終身会費納入済者名 (平成10年10月1日～平成11年9月30日)

ご協力に感謝とお礼を申し上げます。

門鎌川古竹谷中仲西久前明森森山山山	融合上味内村島平村森岡田神光光川崎下本	和統人介吉裕樹淳泰純年伸徳行志大人太司 広 正祐玄貴英 壽文成泰有春雅智正敬見	元野平口口口林源原神田崎科 田津中演演徳日深藤明森山 泉上岡岡片片 電	野 林岡岡	将晃淳弘雅貴直修眞 道耕 弘宏澄純	康康志之充文哉哉也章政治 聡人樹人一仁	山本森田原崎 崎村邊崎野田村味岡橋邊 中西西弘藤宮森山古渡 化学工薬科 大大岡岡古笹高田	也聡真啓秋司人弘純二 也輝巳朗章鎮平平 卓 聖賢朋 正康 研 雅良卓拓宏 亮耕	奥片北奏征嶋嶋嶋竹武竹田岡谷谷中中中中鍋弘古正又森森山山山吉和船飯池井植大大岡岡尾下谷谷津外中中 田岡添野岡崎崎崎石崎市村中 城島平島田岡川岡下岡崎田岡田科野田上木崎西村本崎元口島野山島平 直瀧悟男嗣也誠和平法富康範春穂也浩二人央志茂治平司正之太幸 史也二司弘介祐也仁治洋憲紀章彰郎 正 大拓久寿 友洋泰智博正由太裕和裕華貨宏 教電亮淳敏陽有辰督榮和隆博貨 健 志	直瀧悟男嗣也誠和平法富康範春穂也浩二人央志茂治平司正之太幸 史也二司弘介祐也仁治洋憲紀章彰郎 正 大拓久寿 友洋泰智博正由太裕和裕華貨宏 教電亮淳敏陽有辰督榮和隆博貨 健 志	<昭和三三年> 昭和三三年 幸一 機 川 幸一	<昭和三六年> 昭和三六年 敬 暢 電氣通信科 機	<昭和三八年> 昭和三八年 実 証 化学工薬科 井 上	<昭和三四年> 昭和三四年 建 三 機 岡 中 野	<昭和三四年> 昭和三四年 忠 臣 機 片 岡	<昭和三六年> 昭和三六年 純 吉 機 城 氏 大	<昭和三七年> 昭和三七年 正 敦 化学工薬科 高 橋	<昭和三九年> 昭和三九年 晴 雄 機 船 尾 崎	<昭和三〇年> 昭和三〇年 敏 一 機 船 宮 崎	<平成十一年> 平成十一年 健 隆 健 剛 真 機 平 成 科 木 本 田 下 田 機 青 秋 池 梅 奥
-------------------	---------------------	--	---	-------	-------------------	---------------------	--	--	---	--	-------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	-------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--

同窓会終身会費納入のお願い

同窓会の運営は、会則第7章会計、第21条に基づいて、会員の皆様からの入会金、会費、寄付金を持って充てていますが、中でも卒業生からの終身会費が、主な財源となっています。

事務局におきましては、納入いただきました終身会費を積み立て、その利息で、活動資金の大半を捻出しています。

この実情にご理解戴き昭和53年以降の卒業生は、卒業の時点ではほとんど納めてくれますし、平成4年以降の卒業生は、卒業時全員納入いただけるはこびとなっています。

終身会費未納の皆様方には、(会報の中に郵便振り込み用紙をはさんでいます)同窓会活動を今後とも益々発展させるため、是非とも早い時期に終身会費を納入下さいますよう、ご協力お願い致します。

平成8年8月の総会にて終身会費の値上げを決定いたしました。1万5千円を納入下さい。

平成12年度 同窓会総会及び懇親会のご案内

この度、平成12年8月に同窓会総会を開催します。下記の日程でご案内申し上げます。会員の皆様方の多数のご出席をお願いします。

記

年月日 平成12年8月19日(日)
時間 午後四時より
場所 JA須崎市 3階ホール
(須崎市大間本町14-26)
電話 (0889) 42-1751

須工同窓会 高知支部総会へのご案内

【恒例によりまして、いつもの処で、いつものように開催します。】

- 日時 平成12年5月25日
18:00より(母校開校記念日)
- 場所 高知会館(県庁前電車道南側)
電話088-823-7123
- 会費 一般¥5,000
特別¥3,000
平成8.9.10の卒業生
プラス写真代¥1,000
(受付で申し出て下さい)

老いも、若きも、女性・男性にかかわらず多勢の皆さんのご参加をお待ちしております。高知支部以外の方のご参加もお待ちしています。

支部長 井上健弘 電話72-5075

平成10年度一般会計決算報告書

取入	科目	金額	備考
前年度繰越金	35,812		
新入生入金	274,000	2,000円×137名	
定期預金利息	137,447		
普通預金利息	1,179		
雑収	90,014	平成10年度繰越金残高	
特別会計補助	2,600,000		
合計	3,138,452		
費用	科目	金額	備考
会費	60,640		
事業費	33,862	開校記念品代	
	658,140	会報印刷代	
	548,480	会報送料	
	0	会報送付用封筒代	
	17,640	卒業証書用丸筒代	
	40,000	卒業証書用丸筒代	
	395,766	コンピュター代	
	0	現金賞金	
	14,175	スウェーデン代	
	1,701	終身会費取込	
小計	1,709,764		
借入	30,630		
借入	33,409		
借入	83,030		
借入	391,000		
支配	784,800		
雑費	4,439		
合計	3,097,712		

平成11年度への繰越金額(高知銀行普通預金)
3,138,452円 - 3,097,712円 = 40,740円

平成10年度特別会計決算報告書

取入	科目	金額	備考
前年度未累積額	35,370,000		
平成10年度納入額	1,579,000	15,000円×新卒105名	
合計	37,110,000	15,000円×旧卒11名	
一般会計へ補助	2,600,000		
平成11年度へ累積額	34,510,000		

監査報告

報類及び証憑類等により監査の結果、金額その他については相違なく、預金通帳・定期預金証書等と確実に管理適正に執行されている。

平成11年4月16日

監査坂本

西森



平成11年度一般会計予算(案)

取入	科目	金額	備考
前年度繰越金	40,740		
新入生入金	290,000	2,000円×145名	
定期預金利息	127,200		
普通預金利息	2,060		
雑収	0		
特別会計補助	2,290,000		
合計	2,750,000		

支出	科目	金額	備考
会費	65,000	理事会その他	
事業費	35,421	開校記念品代	
	660,000	会報印刷代	
	550,000	会報送料	
	40,000	会報送付用丸筒代	
	20,000	卒業証書用丸筒代	
	59,327	プリンター修理・カートリッジ交換	
	14,260	MOディスクフロッピー	
小計	1,379,008		
借入	35,000		
借入	35,000		
借入	90,000		
借入	350,000		
支配	67,200	関東 200円×336名	
	39,200	中京 " × 196名	
	17,200	京滋 " × 86名	
	93,400	大阪 " × 467名	
	179,000	高知 " × 895名	
	351,200	須崎 " × 1756名	
	22,600	窪川 " × 110名	
	20,600	藤多 " × 103名	
小計	789,800	200円×3949名	
借入	5,000		
借入	1,192		
合計	2,750,000		

平成11年度特別会計予算(案)

取入	科目	金額	備考
前年度未累積額	34,510,000		
平成10年度納入額	1,485,000	15,000円×新卒95名	
合計	36,220,000	15,000円×旧卒15名	
一般会計へ補助	2,290,000		
平成11年度へ累積額	33,930,000		

平成11年度 役員名簿

役職	氏名	卒コード	科別
相談役	田辺 博造	S18-013	機械2種
〃	清家 寛	S18-010	機械2種
〃	森岡 清	S26-020	機 械
名誉会長	尾崎 翹彦		
会 長	寺田 郁雄	S21-025	機械1種
副 会 長	岡林 幸保	S28-038	造 船
〃	下元 征夫	S37-129	電気通信
〃	津野 隆	S41-090	造 船
常任理事	森下 春茂	S21-019	機械1種
〃	武内 徳雄	S23-034	機械2種
〃	井上 健弘	S27-002	機 械
〃	井上 耿介	S39-004	機 械
〃	山地 健三	S39-180	化学工業
〃	高橋 三雄	S32-019	機 械
〃	山崎 吉広	S33-087	造 船
〃	西森 昌身	S34-121	電気通信
〃	竹崎 貞男	S43-040	機 械
〃	西山 庸一	S48-090	造 船
〃	山岡 英樹	S57-034	機 械
理 事	中平 萬年	S18-017	機械2種
〃	川添 泉	S21-012	機械1種
〃	廣瀬 理	S21-029	機械1種
〃	山田 豊	S21-035	機械1種
〃	吉村 功	S21-081	機械2種
〃	竹内 良一	S25-014	機 械
〃	坂本 臣三	S25-009	機 械
〃	野瀬 公介	S31-099	電気通信
〃	中西 安男	S32-023	機 械
〃	江口 長勲	S33-041	機 械
〃	沖本 毅	S33-012	機 械
〃	松浦 政志	S35-065	機 械
〃	笹岡 文子	S39-157	化学工業
〃	竹田 友一	S42-042	機 械
〃	梅原 正博	S47-116	化学工業
〃	坂本 定浩	S54-009	機 械
監 査	坂本 操	S43-030	機 械
〃	西森 豊	S45-151	電 気

支部長 備多：松浦 政志 窪川：川添 泉 須崎：山地 健三 高知：井上 健弘
 大阪：下村 昇 京滋：田村 武夫 中京：沖本 毅 関東：堀内 靖博

校歌

- 一、須崎工業高校の
教の庭に身と心
新天新地光明の
輝やくもとに勇まし
く
日々鍛いぬく健児団
- 二、自然の暗示わが教
大平洋の荒波は
わが人生の活動か
さらに心の平穏は
波静かなる錦浦
- 三、工業報国理想とし
自主独立の精神を
いただき責務を怠らず
真理と正義重んじて
わが向上の道を逐う

新聞広告の依頼（協賛金） にご注意下さい。

最近、須崎工業高校〇〇周年記念等の新聞広告を出すので、協賛金をお願いしたいとの勧誘があります。学校、同窓会では、一切そのような広告を出しておりませんので、お断り下さい。

各種証明書の発行について

（母校事務室からの伝言）

証明書が必要なときは、法令の定めにより証明書交付申請書別紙（用紙は事務室に備付）を校長宛提出しなければなりません。（第二号十九頁の様式）申請書には必要事項記入のうえ押印し左記金額に相当する高知県収入証紙を貼付してください。遠隔地からの申込みは事務手続に相当の日数を要しますので早目に申込みをしてください。又県外には高知県収入証紙は販売していませんので、現金、又は郵便小為替を同封してください。なお返信用の封筒には切手の貼付、住所、氏名、郵便番号をお忘れなくご記入ください。

手数料は次のとおりです。

卒業証明書	一通につき四〇〇円
成績証明書	一通につき四〇〇円
単位修得証明書	一通につき四〇〇円

送料先 千七百五十八五三三

須崎市多の郷和佐田甲四一六七ノ三

高知県立須崎工業高等学校事務室

電話（〇八八九）四二一七八一

FAX（〇八八九）四二一七一五

証明書の件につき不都合または不明な点等がありましたらいつでも右記電話番号の証明係までお電話ください。

編集後期

例年のことながら、各支部や会員の皆様へ原稿をご依頼しましたところ、ご多忙中にもかかわらずよくご寄稿頂きありがとうございます。

今回は原稿が少なく事務局は苦勞しました。次回は会員の皆様の寄稿よろしくお願い申し上げます。

会報「にしきうら」第二十四号を、お送り致します。会報届先不明者の住所等ご承知の方並びに住所・勤務先が変更になった方は、会報の折り込み葉書で事務局まで連絡下さいますようお願い致します。

平成十二年度も会報第二十五号を発行予定しておりますので、ぜひ皆様のご寄稿をお願い致します。尚、勝手ながら、原稿は九月五日までに事務局にお寄せ下さい。

編集委員

会報「にしきうら」第二四号

平成十一年十二月一日発行

高知県立須崎工業高等学校

発行所 同窓会事務局

有限会社笹岡印刷所

印刷所 高知県須崎市東古市町二番十六号

電話（〇八八九）四二一〇二四四番